

# ブリッジ BRIDGE

社会福祉法人 ゆうかり

70 08  
2021



## ● 特集 one-way-cloth!! 紙エプロン制作

### ● 『やってみよう』楽しい活動計画

〈ゆうかり学園〉

### ● 初めてのクッキング! 食育体験

〈ゆうかり保育園〉

### ● 久しぶりの外出と日々の創作活動

〈地域生活支援拠点ゆうかり〉

### ● 日々の活動の中で

〈そだち支援センタースケッチ〉



社会福祉法人ゆうかり HP

# 特集ページ

## one-way-cloth!!



コロナ禍により多くの事業が縮小する一方、多くの新しい事業も誕生しています。そんな中、ゆうかり学園へ株式会社タナカサトル技術支援の田中社長から「one-way-cloth」の製作を委託されることになりました。世界中で感染者が増えている新型コロナウイルス。そのため、日常生活での徹底した予防が必要になりました。2年が経ち、ワクチンの接種者も増えてきてはいるものの、変異株も出ており、まだまだ感染の不

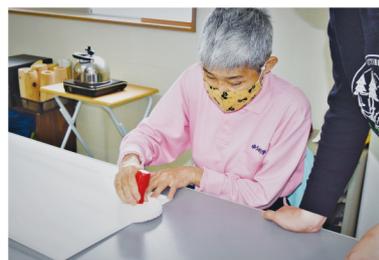


安は完全に払拭出来ていません。誰もが感染したら重体になるのではないかと、うつされるのではないかと、逆にうつしてしまうのではないかと多くの心配を身にまとう日々を過ごしています。

そんな中、ゆうかり学園に委託のあったone-way-cloth製作はコロナ禍だからこそ始まることになった依頼でした。

美容院等で使用しているエプロンを感染予防として防水加工した使い捨ての紙エプロン。ECO時代に使い捨てなの?と思われる方もいるかもしれません。

しかしコロナ感染の予防として病院と同じように使い捨てにするというのは安心のための策であり、神経過敏になっている方々の気持ちの安定にもなる



と思います。one-way-clothの製作活動の中で利用者さんは普段の活動とは違う作業・違うメンバーとの交流に笑顔も多く見受けられ、新たな一面を発見する感動がありました。このような経験のきっかけを頂きました田中社長には感謝です。

今回の製作は、就労継続支援A型のぼおくしょっぷから

4名、ゆうかり学園の紙工班から11名、他活動班からそれぞれ8名の利用者さんが初めての作業に苦戦しながらも頑張ってくれました。まだまだ不安な日々が続きますが一日も早く、元の活気ある日々を取り戻し、皆さんが元気で楽しく過ごせる日がきますように。

事業企画課 永山



QRコードからホームページにブリッジ特集の内容がもっと濃ゆく掲載されております!是非ご覧ください!



2021.4.17パークゴルフ(健康の森公園)①



2021.4.22生活介護班水族館①  
イルカショーに大歓声★



2021.4.22生活介護班水族館②



2021.4.17パークゴルフ(健康の森公園)②  
狙うはホールインワン!



2021.5.27コロナワクチン接種  
早くいつもの日常に戻りますように...



2021.5.20生活介護班水族館①  
食後のコーヒーは幸せそうでした♪



2021.5.20生活介護班水族館②



2021.5.13畜産班子牛セリ市見学①  
愛情込めて育てた牛との別れはグッときます。



2021.5.13畜産班子牛セリ市見学②



2021.5.14そうさく班サラダ作り①



2021.5.14そうさく班サラダ作り②  
丹精込めて育てた野菜は格別に美味しかった!



2021.5.31生活介護班吉野公園①  
きれいな花を見ながら散歩♪



2021.5.21そうさく班パン作り①  
コネコネ☆生地から作りました♪



2021.5.21そうさく班パン作り②

### 生活に彩りを添えられるように

そうさく班は『やってみよう』をテーマに、製作活動やレクリエーション等の活動に取り組んでいます。畑では、利用者の方々が植付けから収穫まで関わり、収穫した野菜は調理活動で使用しています。また、長崎県の瑞宝太鼓とりモートでつなぐ太鼓講習も皆さん楽しんで参加されています。その他にも色々な活動を行っていますが、今後も利用者の方々の生活に彩りを添えられるように、様々な楽しい活動を計画していきます。

writer:松元 直樹

### 命の重みを感じ、感謝しながら

私たち畜産班では、黒豚と牛を飼育しています。本人の能力に合わせてそれぞれの持ち場で、畜舎の清掃・給餌・牧場整理を中心に作業しています。昨年度から新型コロナウイルス感染症の流行によりあまり外出できませんでしたが、5月には子牛競り市に久しぶりに参加しました。愛情を注いで育てた豚や牛が離れるのは寂しいものです。命の重みを感じ、感謝しながら生きていきたいものです。

writer:名越 敏彦



芋の苗植え



上手に植えたよ



食育



楽しいな



跳べたよ



あんよが上手



姉妹でお出かけ



大好き三輪車



トンネルくぐれたよ



仲良し



気持ちいいね



見つめあって



楽しいファッションショー

## わくわく、クッキング!

うめ組さんにとって初めてのクッキングは、とうもろこしの皮むきからスタート。恐らく初めて目にしたであろう、黄緑色のザラザラとした立派な皮。見て触って、匂いも確かめながら夢中で取り組み、あっという間に黄色いとうもろこしを手にしていました。次の日はサンドイッチ作り。茹でたとうもろこしを試食させてもらって、普段給食ではあまり好まない子も、「美味しいね。」「甘いね。」と言ってパクパク食べる姿に驚きました。食の楽しみ方や食べ物大切さを五感で感じて、体験して、食育の醍醐味を感じたひと時でした。

writer: 大前 希望

## 愛情たっぷりお弁当の日

今年度から始まった、月1回のお弁当の日。「公園で食べよう!」という子どもたちのリクエストで、公園へ行くことになりました。すぐに遊具で遊び出した子どもたち。そんな中、すぐにこちらへ戻ってきた女の子。「ねえ、お弁当まだだ〜?」と思わず、「え?まだ来たばかりだよ。」と笑ってしまいました。公園も楽しいけれど、お父さんお母さんのお弁当が何よりの楽しみだったようです。お外でみんなで輪になって食べる愛情たっぷりのお弁当は、特別美味しいものですね。

writer: 川添 志織

ゆうかり



☆石橋公園に行きました☆



♪上手に出来ました♪



みんな大満足！！



♡良い感じに出来てきた♡



みんなでフラワーアレンジメント頑張るぞ↑



銅像とツーショット

石橋公園散歩

5月11日ばすてる活動で涼を求めて石橋公園にドライブに出かけました。

天気も良く歩く足取りも軽く、木陰で涼んでいる方、公園内を散歩している方、それぞれ久しぶりの外出を思い思いに楽しまれていました。

writer:阿間見 良

フラワーアレンジメント

ばすてるの室内活動で、色鮮やかなで綺麗な花を用意してフラワーアレンジメントを楽しみました。試行錯誤しながら花と葉っぱを組み合わせていましたが、完成するとみんな満面の笑みで喜ばれていました。

writer:阿間見 良

そだち支援センター  
スケッチ



かんたんクッキング

スイーツたこ焼き。上手にひっくり返せるかな。



工作

プラ板作り。  
みんな大好きプラ板作り。上手に描けました。



水鉄砲であそぼう

構え方がサマになってます♪



ミニミニゲーム

わらってこらえてじゃんけんぽん。  
じゃんけんには負けただけ余裕の笑顔です。



工作

壁面飾り。カエルやあじさいなどを作り明るい色で梅雨時期の壁を彩ります。

広い心で受け入れる

「スタッフの声」を書き連ねながら、この場を借りてスケッチを振り返り見つめ直している気がします。日々の活動の中で、スムーズにいくこともあればただむやみに子どもたちと走り回った後にどうしてこんなに疲れているのだろうとスタッフ同士苦笑いすることもあります。「おまえー」と呼び捨てた後に、おまけのように「さ・ん」と呼ぶ子ども達を広い心で受け入れる自分を自画自賛しながら、モチベーションを保っています。夏休みも、もうすぐそこまでやってきていますが、今年の夏もダイエットは無理そうです。

writer:尾前 弥生



## 研修報告 園内研修を受けて

今回、子どもへの個別の支援の在り方について研修を受け、子どもがより安心し、楽しく園生活を送るためには個別の支援がとても重要であると、改めて実感しました。

そして、子ども達一人一人の持つ個性を理解し、どのように接することが必要とされるのかを考え、実行することが保育士に求められることの一つであると感じます。

研修では、職員間で考えを共有し、子どもへの接し方について新たな発見や学びがあり、今後、よりよい保育が出来るようになるのではないかと期待が高まりました。

また、一人では解決が難しいと感じる場面で、仲間同士で協力を求め合うこともとても重要であると感じました。

今回学んだことを日々意識して保育に取り組んでいきたいです。

writer: 渡辺 美沙希



## 研修報告 全体研修会・保育の質の向上とは

全体研修会に参加し、保育の質の向上に向けて自分たちには何が必要なのか、保育者としての気持ちの持ち方や考え方などについて学ばせていただきました。「保育者の対応が子ども達にとって一番の環境であり、一人ひとりが自分探しのできる保育を目指していくことが大切である」「日々の保育の振り返りを他職員と共有することが保育の質の向上へ繋がる」「見る角度をかえれば、その子の『善さ』が見えてくる」など、保育者として大切なことを学ぶことができ、改めて保育について深く考えることができました。この研修を通して、自分の日々の保育を振り返ることができ、初心にかかり自分自身の保育に対する姿勢を見つめ直すことができました。今回の学びを大切に、日々精進していきたいです。

writer: 森重 めい



## 長寿祝い 古希を迎えました。おめでとうございます！



Yさん  
S26年生まれ



Tさん  
S26年生まれ

## 新入社員 よろしくおねがいます。

●ゆうかり保育園  
調理員/山下 由佳

## 退職 お世話になりました。

●地域生活支援拠点ゆうかり  
サービス提供責任者  
/勤続8年3か月 有馬 昇吾

# こどもを通じた家庭支援

医療法人元洋会 立元千帆

## 医療法人元洋会の構成

元洋会という名前は、今は亡き父である「立元洋一」の中の2文字を使用して設立されたもので、平成24年に私が継承しました。もともと医療法人元洋会は父の生まれ故郷である鹿屋市に建てられた内科クリニックが母体でしたが、私の継承とともに鹿児島市へ移り「あおぞら小児科」という小児科クリニックを母体としたものに生まれ変わりました。

私には20歳になる娘がいますが、娘が1歳で復職した際の大変さは想像を絶するものでした。また、その際心から感謝していたのが保育園の存在で、絶対的に必要と感じたのが病児保育でした。それらの経験をもとに、あおぞら小児科設立1年後に「病児保育あまやどり」、さらに5年後に「今日もあしたも！かいせい保育園」と2件目の病児保育である「病児保育にわかあめ」を設立しました。

## 家族支援

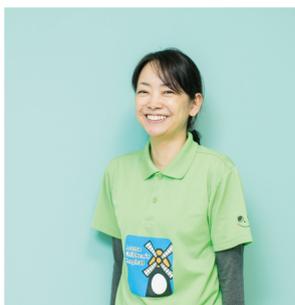
医療法人元洋会は小児科を母体として  
いることから、こどもの健全な発育

のための家族支援を大事にしています。現在は核家族化がすすみ、また祖父母世代も共働きが増えていることから、こどもの病気の際に頼れる人がいないという若い夫婦が増えています。“病気の際に病気のプロが日中育児をしてくれる！”病児保育とはそのような施設であり、保護者の就労の有無にかかわらずこどもを預けることができます。たとえ保護者が就労していない場合でも、夜間高熱等で看病のために全く眠れない状況で日中もほかの兄弟の育児や家事に追われるなんてことはよくあることだと思います。保護者が疲弊しきった状態でこどもに接することは、こどもの健全な発育を妨げる可能性があります。保護者が肉体的および精神面の両方で健全であることがこどものためにも重要であると考え、「今日もあしたも！かいせい保育園」においては、保護者が就労日でない場合でも園児を預けて自分時間を設けることを推奨しています。

さらに、たまには子供を預けて夫婦二人でデートすることも良いのではと、私個人は思ったりもしています。

## 医療法人元洋会の特徴

小児科を母体として保育園と病児保育の運営を行っていることから、当保育園登園中に発熱や嘔吐などの症状が出現した場合でも、すみやかに小児科医の診察をうけ、保護者の手を煩わせることなく園児を病児保育へ移し、看護体制へ移行することが可能です。私の娘が1歳の時、保育園登園後に発熱を繰り返し、そのたびに職場へ電話が来ることは大きなストレスでした。しかも当然のことながら娘を迎えに行けるような状況にあることは少なく、当時鹿屋市に住んでいた母が鹿児島市にある娘の保育園へ迎えに行くという状況が続いていました。このような問題を少しでも解決したいとの思いで設立したのが「今日もあしたも！かいせい保育園」です。その体制が好評なのか、保育園は常に待機児童がいる状況が続いており、今はさらなる保育園設立に動き始めているところです。少しでも多くの家族を支えることができるようにこれからも頑張っていきたいです。



## プロフィール

医療法人元洋会 立元千帆

【趣味】家でのんびりすること

【特技】とくになし

【家族】娘1人

時が経つのは早いもので、ついこの間新年度がスタートしたように思いますが、あっという間に桜は散り、例年よりも長かった梅雨が明け、今はもう夏真っ盛り。保育園では、セミ捕りに水遊びにとはしゃぐ子どもたちの元気な声が響き渡っています。「一緒に鬼ごっこしよう!」と誘われるととっても嬉しい反面、子どもたちのパワーについていけないこともしばしば(泣)。20代の頃より大分体力が落ちたなあ…と少し残念な思いにもなりますが、水分に栄養、休養をしっかりと摂りつつ、この夏もしっかり乗り越えていきたいと思います。

writer:神之 恵理

## = Event =

 ご家族も参加いただけます  地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり	スケッチ
8月	9日～16日 夏季休暇 16日～21日 新型コロナウイルス感染症ワクチン職域接種2回目 誕生会	13日 避難訓練 17日 誕生会 28日 1年生同窓会	誕生会	第1週、夏休みプログラム：水遊びなど 第2週、夏休みプログラム：工作など 第3週、夏休みプログラム：外出プログラムなど 第4週、夏休みプログラム：クッキングなど 第5週、夏休みプログラム：そーめん流しツアーなど
9月	いつまでも元気会	14日 誕生会 16日 避難訓練	誕生会 避難訓練	第1週、スケッチサイエンス：音実験 第2週、ミニミニゲーム：押しずもう 第3週、からだを動かして遊ぼう：風船リフティング 第4週、十五夜クッキング 第5週、ミニミニゲーム：ジェスチャークイズ
10月	十五夜 誕生会	3日 親子レクリエーション  6日 内科検診 19日 誕生会 29日 避難訓練	誕生会 ばすてる 日帰り旅行	第1週、ミニミニゲーム：ジェスチャークイズ 第2週、からだを動かして遊ぼう：障害物リレー 第3週、ハロウィーン：飾りつけ・工作 第4週、ハロウィーン：ミステリーツアー 第5週、ハロウィーンクッキング

※新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

発行責任者  
ブリッジ編集委員会

理事長 水流 源彦  
松山 竜馬・塚田 詞子(ゆうかり学園) 神之 恵理・坂中 純子(ゆうかり保育園) 尾前 弥生・八瀬尾 理恵(スケッチ)  
阿間見 良・中川 望(地域生活支援拠点ゆうかり) 永山 真知子(特集ページ)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520

ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776

地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

Your Smile Makes  
Everyone Happy

